



☆ 広報

みなみちた

その先にある笑顔のために



CONTENTS (目次)

- 50周年を迎えて 町長・町議会議長あいさつ2・3
- 町功労者を表彰4
- 町制50周年記念事業計画5
- 50年のあゆみ6~10
- 町の今昔写真11

平成23年6月1日
町制50周年記念特集号

50周年を迎えて

町 長

石黒 和彦



南知多町が町制50周年を迎えるにあたり、「ごあいさつ」を申し上げます。

町制50周年の年に、東日本大震災が発生し「人間も何かを壊し何かを生み出せ」と自然がわれわれに発した警告のように感じています。

この災害にて尊い生命をなくされました多くの方々のご冥福をお祈りさせていただきます。

そして、同じ状況が想定される本町も、被災地に出来る限り支援をさせていただく中で、被災された方々に、希望に満ちた平穏な日々が一日も早く訪れることを心から願うものであります。

さて、本日、ここに町制50周年を

迎え、町民の皆様とともにお祝いできまことを心よりお喜び申し上げます。

南知多町は、昭和36年6月1日、3つの町と2つの村の合併により誕生した町であります。

今日までの半世紀の歩みを顧みますと、昭和34年9月に襲来した国難と称された伊勢湾台風の災いの中から、国を始め多くの関係者の格別のご指導とご支援を賜り、加えて多くの先人の皆様の復興にかける、熱意溢れる力強い船出で本町は始まりました。

昭和36年10月には世紀の大事業と称賛されました愛知用水が本町に通水されたこと。平成6年11月には、国営農地開発事業が完工し、広大な優良農地が造成されたことにより新たな農業への展望が開ける基盤が完成しました。

漁港や港湾の整備と共に水産物の流通加工施設を充実する事により、県下有数の水産物の供給基地として発展を続ける中、平成3年10月には豊浜漁港において全国豊かな海づくり大会が開催され、つくり育てる漁業を一層推進する機会となりました。

観光面におきましては、豊かな自然がもたらす美しい風景や海の幸、山の幸、そして豊かな郷土がもたらす天然温泉、さらに穏やかな気候が育んだ人情味溢れる人柄を観光資源

とし、多くの皆様の心を癒し豊かさを提供する場として発展してきました。

名鉄知多新線の全線開通、知多半島道路及び南知多道路の延伸と4車線化、中部国際空港の開港など、知多半島を取り巻く交通網は飛躍的に整備され、観光振興に多大な成果をもたらしております。

平成17年4月に完成した師崎港駐車場は、島民の日常生活の利便性を向上すると共に、観光においても貢献しているところであります。

教育面におきましては、心豊かな子どもの成長を目指し、教育環境の改善・充実と教育施設の耐震化事業などに取組んできたところであります。

また、総合体育館及び運動公園グランドの建設、社会教育施設の整備などにより、社会体育・社会教育の充実に取組んでまいりました。

生活環境におきましては、漁業集落排水事業の推進、合併処理浄化槽の普及、知多南部クリーンセンターの整備、知多南部消防組合の設立など、生活環境の向上に努めてまいりました。

高齢社会を迎え、老人憩いの家の整備、特別養護老人ホームなど高齢者施設の整備、シルバー人材センターの設立、健康づくりの推進などに努めてまいりました。

改めて半世紀の歴史を振り返りますと、産業基盤の整備、教育・文化・スポーツの振興、福祉の向上、生活環境の整備など、諸施策に積極的に取組み、各分野の伸展と町の姿の変化に、多くの町民の方々は感慨無量であろうと推察するしだいです。しかし、現実には、人口の減少や景気の低迷がもたらす産業の停滞による自主財源の減少、後継者不足など、本町を取り巻く諸情勢は大変厳しいものがあります。

こうした厳しい現状を十二分に認識した上で、明日の南知多町の進むべき道を切り開いていくことこそ、今に生きる私たちの責務であります。

ここに50年を迎えるに当たり、わが町の多くの遺跡が語る縄文時代から人が暮らすほど、住みやすい南知多町は「自然と共に生きる」という理念を町民と行政が共有し、人と自然、みんなの汗で光る「日本一住みやすい町」を町民の皆様と手を携えながら、強い決意をもって「自然と共に生きるまちづくり」を進めてまいります。

結びにあたりまして、町民の皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げますとともに、南知多町の新しいまちづくりにご理解とご協力を心よりお願い申し上げます、あいさつといたします。

町議会議長

相川 成三



南知多町制施行50周年に当たり、お祝いを申し上げます。

昭和36年の南知多町誕生から50年、南知多町総合計画などを基に、農・漁業、商工・観光の諸施策による、施設の充実、また、特筆すべきことは、離島までの上水道の完備、県道半田南知多公園線（南知多道路）の師崎までの延伸、師崎港立体駐車場の完成など、そして教育・福祉の諸施設の充実等、これまでに成し得た事業は数え切れません。

これらは、国・県のご指導、ご支援を始め、諸先生や先輩方のご熱意及び町当局、町民皆様のご努力の賜物であり、ここに深く感謝申し上げます。

る次第であります。

しかしながら半島の先端にある本町は、大都市に近い市町に比べ、道路建設を始め公共事業が大きく立ち遅れ、人口減少の要因ともなっています。

南知多町制施行当時は、約三万を数えた人口が、今年3月末では二万三千九十二人と激減しました。地方の時代と言われて久しいのに、現実には、狭い国土の中で都会は過密なのに、地方は過疎が拡大し、少子高齢化に拍車がかかっており、本町もやや活力が失われてきた感じであります。人間は誰もが老いていくものですが、国や地方公共団体は、老いるものではなく、南知多町は永遠に発展しなければなりません。

この3月、私どもの想像を遥かに超えた東日本大震災が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。あります。三方を海に囲まれた本町の今後の発展のためには、この大震災の教訓を取り入れ、まちづくり計画を思い切って立て直さなければなりません。土地利用上の数々の規制はありますが、いのちが、第一の基本

に立つて、諸先生方のご支援や指導を仰ぎながら、町執行部、私たち町議会と町民が一体となつて、知恵と力を、振り絞つて、種々の難関を打破し、安全で住み良く、文化と福祉と産業を、強力に活性させ、この南知多町が日本列島の中央にあつて、アジアの宝石として輝く町にして、未来に引き継ぎたいと思います。皆様よろしく願います。

終りに、全町民のご健勝とご多幸をお祈りして、お祝いのごあいさつといたします。



町の花「すいせん」

南知多町民憲章

- みんなできまりを守り、明るい社会をつくりましょう。
- いたわりと感謝の気持ちで、素直な心を育てましょう。
- 健康で明るく、規律ある生活を築きましょう。
- 笑顔で話し合い、心のかよう家庭をつくりましょう。
- かけがえのない自然を大切に、住みよい町づくりに努めましょう。

町制50周年記念式典で

町功労者を表彰

平成23年6月1日の町制50周年記念式典において、各分野でご活躍され町発展にご尽力いただいた次の皆さんに町表彰条例に基づく表彰（町政功労者）、特別表彰ならびに感謝状が贈られました。

町政功労者

特別表彰

自治行政功労

兼井 照也（大井）

産業振興功労

磯部 金裕（片名）

間瀬 憲一（大井）

中山 勝比古（日間賀島）

渡邊 幸一（山海）

地方自治の進展に貢献

内田 誠一（内海）

中川 嗣朗（師崎）

橋本 新二（内海）

露木 克彦（内海）

内田 登志男（内海）

産業の振興に貢献

中村 善春（師崎）

竹味 伸明（片名）

民生の安定に貢献

間瀬 美子（師崎）

多額の私財を寄附

内田 吉泰（名古屋市）

内田 佐太臣（千葉市）

感謝状

地方自治の進展に貢献

内田 光伸（内海）

林 宣昭（山海）

民生の安定に貢献

平山 昌冬（豊丘）

石橋 利治（篠島）

磯部 洋子（片名）

相川 忠夫（豊浜）

鳥居 まき子（片名）

鈴木 敏子（内海）

名村 直高（篠島）

大岩 徳正（豊浜）

青山 兼松（豊浜）

宮地 鈴吉（日間賀島）

竹川 正悟（片名）

松本 松夫（豊浜）

教育・体育・学術など文化の振興に貢献

山下 定治（豊丘）

交通安全に貢献

間瀬 喜則（大井）

磯部 和雄（片名）

齋藤 充克（師崎）

鳥居 保（師崎）

鈴木 健一（日間賀島）

保健衛生に貢献

安井 健三（名古屋市）

知多厚生病院附属篠島診療所

南知多町健康づくり食生活改善協議会

知多厚生病院

社会福祉法人 南知多（豊丘）

社会福祉法人 あぐりす実の会（内海）

社会事業に貢献

じゃんけん本の会

手話サークルかもめ

えほん村

読み聞かせ人形劇ランプの会

（順不同・敬称略）



町制50周年記念 事業計画

町制50周年を記念して以下のような事業が予定されています。詳細が決まっていない事業に関しては、今後の広報でお知らせします。なお、今回お知らせした事業計画は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

事業名	と き	ところ	内 容
着ぐるみ作成	5 月		ミーナ、すこやかーな
愛知県植樹祭	5月21日(土)	総合体育館	式典・植樹
町制50周年記念式典	6月1日(水)	総合体育館サブアリーナ	記念式典・講演会 講師：梅原 猛 氏(名誉町民)
夏休み親子水道施設見学会	7月～8月	知多浄水場（知多市）～岩屋配水池～師崎ポンプ場	町マイクロバス利用による見学会、一般町民（小学生以下は保護者同伴）
文化講演会	8月8日(月)	総合体育館	講師：さかなクン
子ども未来議会	8月23日(火)	役場議場	子ども未来議会・未来宣言
上方演芸会	8月26日(金)	総合体育館サブアリーナ	NHKラジオ公開番組
愛知用水通水50周年記念事業 受益市町リレーイベント	9 月	南知多町総合体育館	愛知用水作成のパネル展示
歩け歩け大会	9月25日(日)	大井方面 1 コース 豊丘方面 1 コース	体育協会・けんこう南知多 プラン推進委員会共催によるウォーキング大会
コンサート	9月～10月頃	内田佐七邸	内田佐七邸による夜のコンサート
山崎修作品展示会	9月～10月頃	内田佐七邸	山崎修氏の作品展示（灯籠コーナー等）
多文化交流事業	10月中	総合体育館メインアリーナ	交流イベント
産業まつり推進事業	11月6日(日)	豊浜漁港施設用地内	お楽しみ抽選会へ周年記念特別賞を提供
福祉講演会	11月27日(日)	総合体育館サブアリーナ	「いのちの大切さについて (地域自殺対策緊急強化事業)」 講師：水谷 修 氏
サテライトセミナー	12月18日(日)	総合体育館サブアリーナ	男女共同参画関係講演会 (講師未定)
プレミアム付商品券発行事業	(時期未定)	町内 3 商工会	商業協同組合加盟店 (約200店舗)
海っ子バス・フォトコンテスト	平成23年度中	海っ子バス運行区間で南知多町内に限る	

南知多町の出来事

- 昭和36年(1961)
 - 内海町、豊浜町、師崎町、篠島村、日間賀島村の3町2村が合併して南知多町が誕生
 - 初代町長に大岩国蔵氏、助役に山岡藤市氏、収入役に山本富一氏が就任
- 昭和37年(1962)
 - 水道事業給水条例による営業開始
 - 町広報創刊号発行
- 昭和38年(1963)
 - 公募により町章制定
- 昭和39年(1964)
 - 伊勢湾等高潮対策事業完了
- 昭和40年(1965)
 - 師崎港完工
- 南知多町誌発刊
- 昭和41年(1966)
 - 南知多町美浜町伝染病院組合を設立
- 昭和42年(1967)
 - 大井フィッシングセンター完成
- 昭和43年(1968)
 - 南知多町新庁舎竣工(豊浜)
- 昭和44年(1969)
 - 片名浦(現新師崎)土地造成事業完工
- 昭和45年(1970)
 - 県道半田南知多公園線(南知多道路)開通
- 町単独で救急業務開始
- 昭和46年(1971)
 - 豊浜中学校校舎竣工(全面移転)

◀ 50年をふり返ってみましょう

昭和37年



▲水道事業営業開始

昭和36年



▲町村合併申請者

昭和43年



▲南知多町庁舎竣工

世の中の動き

- 昭和36年(1961)
 - 四日市ぜんそくが発生
- 昭和37年(1962)
 - 大日本製薬、サリドマイド系睡眠薬を自主的に出荷停止
 - キューバ危機
- 昭和38年(1963)
 - 三池炭鉱三川鉱でガス爆発
- 米、ケネディ大統領暗殺
- 昭和39年(1964)
 - 東海道新幹線開業
 - 第18回オリンピック東京大会開催
- 昭和40年(1965)
 - 名神高速道路全線開通
- 朝永振一郎、ノーベル物理学賞受賞
- 昭和41年(1966)
 - 全日空機、羽田沖で墜落
- 昭和42年(1967)
 - 公害対策基本法公布
- 昭和43年(1968)
 - 川端康成、ノーベル文学賞受賞
- 3億円事件
- 昭和44年(1969)
 - 米、アポロ11号が月面に着陸。月面に人類の第一歩
- 昭和45年(1970)
 - 大阪で日本万国博覧会開催
- 日航機「よど号」乗っ取り事件
- 昭和46年(1971)
 - 公害行政の一元化のため環境庁設置

50年のあゆみ

- 昭和47年(1972)
 - 愛知三島水道企業団認可
- 昭和48年(1973)
 - 海底送水管(師崎～日間賀島～篠島)完工
- 昭和49年(1974)
 - 給食センター開所
- 昭和50年(1975)
 - 7月7日豪雨災害(災害救助法発令)
- 昭和51年(1976)
 - 師崎港観光センター完成
- 昭和52年(1977)
 - 町の木「うばめがし」町の花「すいせん」制定
- 昭和53年(1978)
 - 南知多町と美浜町で知多南部消防組合を設立
- 昭和54年(1979)
 - 国営南知多開拓建設事業起工
- 昭和55年(1980)
 - 篠島、日間賀島環境衛生センター(し尿処理施設)竣工
- 昭和56年(1981)
 - 県立内海高校篠島、日間賀島分校開校
- 昭和57年(1982)
 - 名鉄知多新線(富貴～内海)開通
- 昭和58年(1983)
 - 運動公園竣工
 - 町民憲章制定
 - 海岸線の主要幹線道路が国道247号に昇格
- 昭和59年(1984)
 - 南知多道路の豊丘～大井間が開通

昭和55年

▶名鉄知多新線全線開通



昭和45年



▲南知多道路開通

昭和56年



▲運動公園竣工

◀7月7日豪雨被害



昭和49年

- 昭和47年(1972)
 - 第11回冬季オリンピック札幌大会開催
- 昭和48年(1973)
 - 浅間山荘事件
 - 沖縄の施政権返還。沖縄県発足
- 昭和49年(1974)
 - 中東戦争で第一次石油危機
- 昭和50年(1975)
 - 江崎玲於奈、ノーベル物理学賞受賞
- 昭和51年(1976)
 - 佐藤栄作、ノーベル平和賞受賞
- 昭和52年(1977)
 - 新幹線、博多まで延長開業
- 昭和53年(1978)
 - ロッキード事件で田中前首相逮捕
- 昭和54年(1979)
 - 領海12カイリ法、漁業水域200カイリ法成立
- 昭和55年(1980)
 - 成田空港(新東京国際空港)開港
- 昭和56年(1981)
 - 英で世界初の体外受精児誕生
- 昭和57年(1982)
 - 初の国立大学共通一次学力試験実施
- 昭和58年(1983)
 - アフガニスタンでクーデター。ソ連軍が介入
- 昭和59年(1984)
 - 米、セントヘレンズ山大噴火
- 昭和60年(1985)
 - 神戸市で「ポートピア81」開催
- 昭和61年(1986)
 - 福井謙一、ノーベル化学賞受賞
- 昭和62年(1987)
 - アルゼンチン軍、英とフォークランド紛争
- 昭和63年(1988)
 - 日本海中部地震、津波で被害

- 昭和59年(1984)
 - 保健センター竣工
- 昭和60年(1985)
 - 衛生センター(焼却式し尿処理施設)竣工
- 昭和61年(1986)
 - 住民記録電算処理システム稼動
- 水産物直売センター「魚ひろば」オープン
- 昭和62年(1987)
 - 社会福祉法人南知多町社会福祉協議会設立
- 昭和63年(1988)
 - 温泉掘削に成功
- 昭和64年・平成元年(1989)
 - 内海保育所が完成(内海北、南保育所が統合)
- 平成2年(1990)
 - 日間賀島東浜海水浴場オープン
- 平成3年(1991)
 - 総合体育館完成
- 第11回全国豊かな海づくり大会開催
- 平成4年(1992)
 - ふるさとづくり事業・篠島舟型山車、日間賀島たこのモニユメント完成
- 平成5年(1993)
 - 篠島診療所完成
- 師崎公民館児童図書分館オープン
- 平成6年(1994)
 - 異常渇水で愛知用水19時間断水
 - 国営南知多開拓建設事業完工
 - わかしやち国体炬火採火式、リレー

平成3年



▲第11回全国豊かな海づくり大会開催

昭和59年



▲保健センター竣工

昭和63年



▲内海山海温泉湧出

平成3年

▶総合体育館完成



- 昭和59年(1984)
 - 江崎グリコ社長誘拐事件
- 昭和60年(1985)
 - NTT(日本電信電話会社)、日本たばこ産業会社がスタート
- 日航機が群馬県御巣鷹山に墜落
- 昭和61年(1986)
 - ソ連でチェルノブイリ原発事故
- 昭和62年(1987)
 - 国鉄分割民営化、JRRグループ発足
- ニューヨーク株式市場の大暴落
- 昭和63年(1988)
 - 青函トンネルが営業運転開始
- 利根川進、ノーベル医学生理学賞受賞
- 昭和64年・平成元年(1989)
 - 昭和天皇崩御
- ベルリンの壁、取り壊し始まる
- 平成2年(1990)
 - 国際花と緑の博覧会が大阪で開幕
- 東西ドイツ統一
- 平成3年(1991)
 - 湾岸戦争、多国籍軍がイラク空爆
- 雲仙普賢岳で大規模火砕流発生
- 平成4年(1992)
 - 新幹線に「のぞみ」登場
- 毛利衛らが乗ったスペースシャトル「エンデバー」打ち上げ
- 平成5年(1993)
 - 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)開幕
- 北海道南西沖地震、奥尻島で大被害
- 平成6年(1994)
 - 関西国際空港が開港
 - 大江健三郎、ノーベル文学賞受賞

- 平成7年(1995)
 - 事業系ごみの有料化
 - 山海公民館完成
- 平成8年(1996)
 - 特別養護老人ホーム「あい寿の丘」、ケアハウス「みなみ苑」完工
 - ごみの分別収集スタート(内海、山海、豊丘地区)
- 平成9年(1997)
 - 町誌編さん事業完成(全7巻)刊行
- 都市計画税導入
- 平成10年(1998)
 - 知多南部衛生センター、クリーンセンター完成
- 平成11年(1999)
 - 地域振興券交付
 - 南知多ニューテレビ開局
 - 名誉町民梅原猛氏文化勲章授章
- 南知多道路4車線化
- 平成12年(2000)
 - 日間賀島診療所完成
 - 介護保険制度スタート
 - 師崎～篠島間海底送水管布設替工事完工
- 平成13年(2001)
 - 生ががい活動支援センター(両島)の設置
 - 愛知三島水道企業団解散(水道事業を一元化)
- 町情報公開条例施行
- 平成14年(2002)
 - 町キャラクター「ミーナ」誕生

平成11年



◀ 南知多道路の4車線化

平成6年



▲ 異常湧水で19時間断水

平成12年



▲ 師崎～篠島間海底送水管布設替工事完工

平成10年



◀ 知多南部クリーンセンター完成

- 平成7年(1995)
 - 阪神・淡路大震災発生
 - 地下鉄サリン事件
- 平成8年(1996)
 - 病原性大腸菌O・157による集団食中毒が各地で発生
- 平成9年(1997)
 - ペルー日本大使公邸をゲリラ襲撃
- 隠岐島沖でロシアのタンカー沈没
- 香港返還、155年の英統治終わる
- 平成10年(1998)
 - 第18回冬季オリンピック長野大会開催
 - 33年周期で起こる「しし座流星群」が観測される
- 平成11年(1999)
 - 欧州に通貨ユーロ誕生
 - 茨城県東海村の核燃料工場で臨界事故
- 平成12年(2000)
 - 三宅島噴火、全島民が避難
 - 東海豪雨で大被害
 - 白川英樹、ノーベル化学賞受賞
- 平成13年(2001)
 - 米海軍の潜水艦と宇和島水産高校の練習船「えひめ丸」が衝突、沈没
 - アメリカ同時多発テロ事件発生
 - 皇太子妃雅子さまが敬宮愛子内親王をご出産
- 野依良治、ノーベル化学賞受賞
- 平成14年(2002)
 - 初の日朝首脳会談、拉致被害者5名が日本へ帰国
 - 小柴昌俊がノーベル物理学賞、田中耕一がノーベル化学賞受賞
 - 学習指導要領改正、完全週五日制実施

- 平成15年(2003)
 - すいせんひろば開設
 - 内海・師崎サービスセンター開設
 - 漁業集落排水事業供用開始(日間賀島)
- 平成16年(2004)
 - 知多南部消防組合消防本部 消防緊急通信指令システム運用開始
- 平成17年(2005)
 - 内海高等学校篠島校舎閉校
 - ルーマニアと万博フレンドシップ事業
- 南知多町・美浜町合併協議会設置、解散
- 師崎港駐車場竣工
- 子育て支援センター開所
- 特別養護老人ホーム「大地の丘」開設
- 平成18年(2006)
 - 篠島小学校移転
 - 地域包括支援センター開設
- 平成19年(2007)
 - 「けんこう南知多プラン」キャラクター「すこやかーな」誕生
- 平成20年(2008)
 - 豊浜小学校北校舎改築竣工
 - 豊浜・豊丘小学校統合
 - 津波・高潮ステーション竣工
 - 尾州廻船船主内田佐七家 町指定文化財登録
- 平成21年(2009)
 - 内海・山海小学校統合
- 平成22年(2010)
 - 「海っ子バス」運行開始
- 平成23年(2011)
 - 一般廃棄物最終処分場竣工

平成20年



▲尾州廻船船主内田佐七家町指定文化財登録

平成17年



▲ルーマニアとフレンドシップ事業

平成22年



▲「海っ子バス」運行開始

平成17年



▲師崎港駐車場竣工

- 平成15年(2003)
 - イラク戦争開戦、フセイン政権崩壊
 - SARSウイルスが世界的に流行
- 平成16年(2004)
 - 新紙幣発行
 - スマトラ島沖地震発生
- 平成17年(2005)
 - 中部国際空港が開港、愛・地球博開催
 - ハリケーン・カトリナがアメリカに大きな被害
 - 人口が戦後初めて減少
- 平成18年(2006)
 - 文仁親王妃紀子さまが悠仁親王をご出産
- 平成19年(2007)
 - 道路交通法改正により中型自動車新設
 - 郵政民営化
- 平成20年(2008)
 - 東海北陸自動車道が全線開通
 - サブプライムローン問題を発端に世界的な金融危機
- 平成21年(2009)
 - バラク・オバマ、黒人初のアメリカ合衆国大統領に就任
 - 裁判員制度実施
- 平成22年(2010)
 - 歌手マイケル・ジャクソン死去
 - 上海で万博開催
 - 尖閣諸島中国漁船衝突事件発生
- 平成23年(2011)
 - 大相撲八百長問題が発覚、本場所が開催中止
 - 東北地方太平洋沖地震発生

ギャラリー

南知多町の

今

と

昔



師崎港



豊浜
九十九橋



大井
小学校



篠島前浜
(サンサンビーチ)





師崎 羽豆神社の社叢（しゃそう）



町のキャラクター
ミーナ



「けんこう南知多プラン」
キャラクター
すこやかーな

**ミーナと
すこやかーなの
着ぐるみが
できました！**